

# 取扱説明書

品名 フルスライドラック  
型式 スライダー L,N,H,P,Cシリーズ  
用途 重量物の収納棚

## 目次

1. 設置時のご注意
2. 使用上のご注意
3. 各部の名称とはたらき
4. 定期点検
5. Cシリーズ使用上のご注意

この度は、弊社フルスライドラックをご購入いただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、必ずこの説明書をよくお読みいただき、正しいお取扱方法にて末永く、  
安全に、ご使用いただけるようお願い致します。  
お読みになった後は大切に保管し、不明な時や故障した時にお役立てください。

## 株式会社 日向製作所

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町2-280-2

TEL048-648-9132 FAX048-648-9133

工場 行田市野字八ツ島3341-27(行田みなみ産業団地)

〒361-0026 TEL048-559-1242 FAX048-559-5211

<http://www.hyuga-ss.com>

## 1. 設置時のご注意



溶接一体型構造の完成品で納入されます。

フォークリフトやクレーンで移動し、設置するだけで、すぐにご使用できます。

- 1) 移動の際は変形しないように平均した吊上げにてお願いします。
  - 2) スライドラックの自重500kg～2500kgと総荷重3t～24t(型式により変動)を考慮し、十分に地耐力のある、水平なコンクリート床上に設置してください。
  - 3) 水準器によりスライドレール上で前後の水平を出してください。  
(左右の水平は大きく傾いていなければOKです。)  
一番高いベースプレートに合せて低い所をバールで持ち上げ、  
各ベースプレートと床の間のスキマに付属のライナーを入れてください。  
アンカーボルトで固定すれば、より安心です。
- ※ 水平が出ていないとスライド棚の出し入れが重くなってしまいます。
- 4) 各スライド棚が輸送中に飛び出さないようにロープで止めてありますので取り除いてください。
  - 5) スライド棚がフレームよりの前に引き出されます。  
出る量と作業者のスペースを充分考慮の上設置してください。
  - 6) 屋内仕様です。水がかかる場所や腐食性ガス等の雰囲気のある場所には、設置しないでください。
  - 7) Cシリーズ(チェンブロック付スライドラック)の場合、スライドラック上部は組立てる必要があります。  
高所での作業となりますので充分注意してください。  
尚、付属のボルトで確実に締付けてください。  
また、チェンブロックについては付属の取扱説明書に従ってください。
  - 8) 移設の際は必ず空荷にてお願いします。

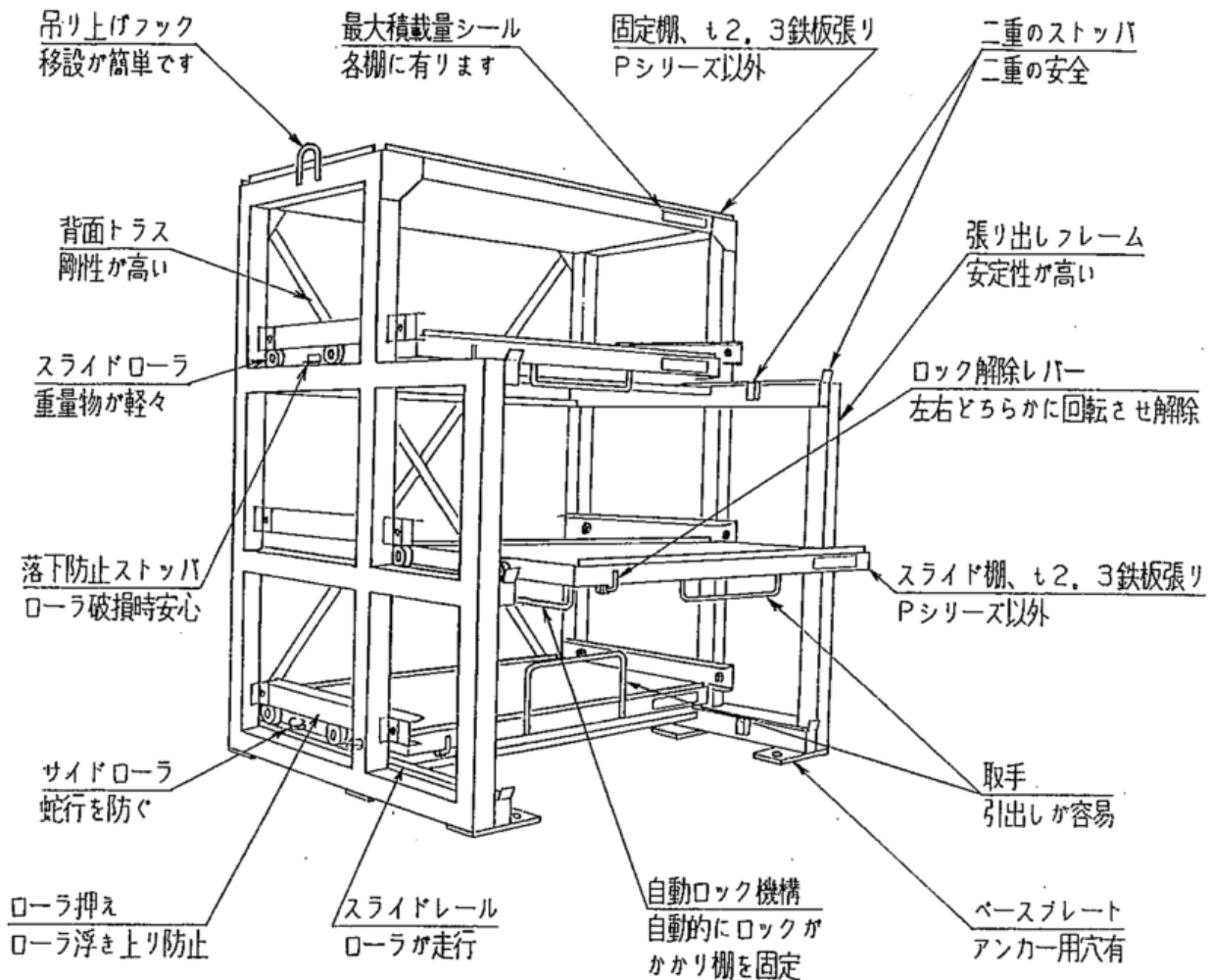
## 2. 使用上のご注意



- 1) ワーク(収納物)出し入れ時、スライド棚は必ず、完全に前に引き出し、ロックがかかった状態としてください。  
スライド途中での出し入れは、ロックがかからず不安定です。
- 2) ワークを収納する場合、スライド棚を完全に引き出してからワークを棚の上に移動するようにしてください。  
ワークを移動してから棚を引き出すのはワークの下に入り込む形となり危険です。
- 3) クレーンやフォークリフトの操作はゆっくりと行い、スライド棚にできるだけ衝撃を加えないようにしてください。
- 4) スライド棚は、1棚ごとの出し入れとしてください。
- 5) できるだけ均等荷重となるようにワークを置いてください。  
やむをえず、偏荷重となる場合は、棚の中央より奥においてください。
- 6) 最大積載量を必ず守ってください。各棚に最大積載量のシールが貼ってあります。
- 7) ワークは金型等のように単体の重量物を想定しています。  
やむをえず、重心の高いワークや崩れやすいワークを重ねて収納される場合は、必ず固定してください。
- 8) スライド棚を引き出す際は、周囲に充分注意し、特にスライドレール上に異物がないか、確認してください。
- 9) スライド棚はできるだけゆっくりとスライドさせてください。  
重量物の慣性により停止時に大きな衝撃となります。
- 10) 棚の上にはのぼらないでください。やむをえず、のぼる場合は踏み台等を使用してください。  
棚上は油等があると大変滑りやすいので充分注意してください。
- 11) ロックレバーは左右どちらかに90° 回し、スライド棚を少し引き出せば解除状態を維持し、完全に前に出れば重力により自動的にロックがかかります。押込み時も同様です。

### 3. 各部の名称とはたらき

フルスライドのため最後部まで引出せ、真上に吊り上げられます。



### 4. 定期点検

安全に末永くご使用いただくために定期点検を実施してください。

また、修理・改造はご自分でなさらずに弊社にご連絡ください。

点検部	点検項目	点検周期
フレーム	水平を保っているか	1ヶ月
スライド棚	き裂・へこみ・曲がり・サビの有無	
スライドローラ	汚れ・き裂・異音・蛇行の有無	1週間
サイドローラー	スライドがスムーズ(軽い)か、スライドローラとローラ押えのスキマ(1~2mm)が適当か	
ロック機構	動きがスムーズか・き裂の有無	1週間
スライドレール	異物	使用開始毎
	キズ・へこみ・サビ	1週間
ボルト	ゆるみ	1週間

## 5. Cシリーズ(チェーンブロック付)使用上のご注意

### ・取扱者



**警告** 基本的には「玉掛技能講習修了証」修得者又は同修得者指導の下に取扱う。

### ・最大吊上げ荷重



**警告** 定格荷重を超える品物は絶対に吊上げないで下さい。  
チェーンブロック、その他重大な破損につながる恐れがあります。

### ・吊上げ用具



**注意** ワイヤー、ベルトスリング及びフック等は常時点検整備を行い、  
安全を確認できたもののみ使用して下さい。

### ・吊上げ作業



**注意** 荷が横摺りするような使い方は大変危険ですので、お控え下さい。

### ・安全作業



**警告** 吊り荷の下には絶対に入らないで下さい。  
本装置を本来の目的以外に使わないで下さい。

※チェーンブロックに関しては、同取扱説明書をご参照下さい。

### ※官庁への届出

定格500kg以上の電動チェーンブロック使用の場合は、  
労働基準監督署への設置報告書の提出が必要です。  
定期検査書の提出義務はありませんが、ユーザー様にて  
年1回定期点検と記録の保管が必要です。